表8-2　平成28年度国・地域別来訪者受入状況

（単位：件、人）

国／地域名	件数	人数
バングラデシュ	1	22
フランス	1	3
インドネシア	1	15
韓国	4	20
キルギス	1	12
タイ	3	34
ベトナム	8	88
台湾	1	2
アジア等諸国（ラオス、バングラデシュ、タンザニア）	1	6
合計　9か国／地域	21	202

第９章　人事管理業務のＩＴ化の推進

人事・給与情報システムは、国家公務員の人事管理、給与管理、共済管理、職員からの届出・申請処理等の諸機能を一体化した府省共通システムであり、人事院が本システムの構築及び運用を行っている。

平成28年度におけるシステム改修としては、改善計画に基づき、「夜間バッチの性能改善」等の性能向上に関する５項目の改修については平成28年10月に、「調書等の様式統一化」等の機能向上に関する18項目の改修については平成29年２月及び３月に、それぞれ実施した。

加えて、アプリケーション保守として、平成28年11月の給与法等の改正に対応した改修を制度関係部局等と連携を図りつつ遅滞なく実施するとともに、年金一元化、マイナンバー制度への対応のうち平成28年度において必要な改修を実施した。

また、改善計画に基づき移行作業に着手した府省等が、人事・給与情報システムへの効率的かつ円滑な移行を実現できるよう、平成28年度に、各府省等に対して、以下の取組を実施した。

①　各府省等の移行作業について、年度当初の実施計画に対する毎月末における進捗状況を記載した移行スケジュールを作成し、関係者間で共有。

②　人事・給与情報システムの利用者用マニュアルの別冊として平成28年３月に作成した「エラー対応集」を追補し、各府省等に提供するとともに、先行して移行作業を実施している府省等において得られた知見等を後続の府省等に共有する移行用ナレッジを作成し、その説明会を計２回（平成28年８月及び10月）開催。さらに、移行作業経験のある職員等で構成する特別移行支援チームの会議を毎月１回（計12回）開催、移行作業に関する勉強会を計５回（平成28年５月、７月及び10月、平成29年１月及び２月）開催。

③　移行府省等において人事・給与情報システムにより業務を行う担当者を対象とした利用者講習会を平成28年６月から10月まで全国８都市で計12回開催。さらに、本番稼働中の府省等を含めた各府省等の新任者を対象とした利用者講習会を平成28年５月に東京都で計４回、人事・給与情報システムの管理者向け利用者講習会を同年11月に東京都で計４回、それぞれ開催。

平成25年度末時点では12府省等において導入されていたが、平成28年度には28府省等の全職員約27.3万人（常勤）が人事・給与情報システムの処理対象となった。

また、最適化計画について、改善計画に記載されている改善策の取組効果を含めた導入効果を調査・検証した結果、運用経費削減の効果等を踏まえた改定が平成29年２月28日に各府省情報化統括責任者（ＣＩＯ）連絡会議において決定された。

第10章　人事院総裁賞及び各方面との意見交換等

第１節　人事院総裁賞

「人事院総裁賞」は、国家公務員が国民全体の奉仕者としての強い自覚の下に職務に精励し、もって公務及び公務員の役割についての理解と公務に対する信頼を高めることに寄与した場合で、それが顕著と認められる職員又は職域グループを顕彰するもので、昭和63年に人事院創立40周年を記念して創設された。

被顕彰者は、人事院総裁の委嘱する各界有識者からなる選考委員会（平成28年度は佃和夫委員長（三菱重工業株式会社相談役）の下、６人の委員）が、各府省及び行政執行法人から推薦された職員又は職域グループについて厳正な審査・選考を行い、その結果に基づいて人事院総裁が決定している。

第29回を迎えた平成28年度「人事院総裁賞」は、個人２名及び職域３グループに対して授与された（表10）。授与式は、平成29年２月９日、東京都内において行われ、その後、受賞者及び受賞職域グループ代表者は、宮中において天皇皇后両陛下に御接見を賜った。

平成28年度までの被顕彰者の合計は、個人62名、職域86グループとなっている。

表10　平成28年度「人事院総裁賞」受賞者及び受賞職域グループ

（1）個人部門

氏名・官職名	顕彰理由
西　野　修　次 海上保安庁 第三管区海上保安本部横浜海上保安部 巡視船　首席整備士	41年の長きにわたり、航空機整備士一筋に歩み、高度な専門的知識等をいかし、荒天下における海難救助など危険を伴う特殊な飛行を行う航空機の無事故運航に尽力し、海上保安業務に多大な貢献
坂　本　峰　至 環境省 国立水俣病総合研究センター 国際・総合研究部長	水俣病及び水銀の調査研究をリードする研究者として、高度な専門的知識等をいかし、世界で広がる水銀汚染現場での現地調査の実施、評価等に当たって、中心的、主体的な立場で問題解決に多大な貢献

（2）職域部門

府省名・職域名	顕彰理由
警察庁 皇宮警察本部 護衛部護衛第一課護衛馬係	信任状捧呈式や皇室の重要儀式を安全かつ円滑に運営するため、騎馬により身辺の護衛を行う皇宮護衛官の乗馬指導、馬の飼育、調教及び厩舎管理を24時間365日体制で行うなど、厳しい勤務環境の中、重要儀式を陰ながら支える業務に尽力
法務省 奈良少年刑務所	若年の初犯受刑者収容施設の一つとして、受刑者の改善更生に向け、様々な先進的取組を実施。また、性犯罪再犯防止指導の推進基幹施設に位置づけられ、再犯防止策を牽引する役割に尽力するなど我が国の治安維持や青少年の育成に多大な貢献
林野庁 中部森林管理局計画保全部治山課、 木曽森林管理署、南木曽支署	平成26年７月の長野県梨子沢での土砂災害、同年９月の御嶽山の火山災害に際し、被災状況の確認、監視カメラ、雨量計の設置及び治山ダムの設置・補修を行うなど、２次災害の防止や地域住民の安全・安心の確保に大きく貢献

第２節　各方面との意見交換等

人事行政を適切に運営していくため、各方面から公務員や公務員制度に対する率直な意見を聴取するとともに、公務に対する理解を得ることに努めている。

これらの意見については、制度改正などを通じ、人事行政の方針の策定や運営面に反映させていくこととしている。

１　公務員問題懇話会

地方の実情を的確に把握するため、名古屋市、神戸市及び高知市において、人事行政全般に関する諸問題について、それぞれの地域の各界有識者と人事院幹部が意見交換を行った。

２　企業経営者等との意見交換

中小企業経営者、報道機関の論説委員等を対象に、平成28年４月から６月にわたり全国48都市において、国家公務員給与の決定方法、人事院勧告の意義・役割等を説明するとともに、地域における経営環境、賃金改定の動向及び公務員給与の在り方等に関して率直な意見交換を行った。